

各大学におけるESDへの取組み状況とユネスコスクール等に対して  
提供可能な支援措置に関するアンケート調査 回答票

学校名 富山高等専門学校

ホームページ：<http://www.nc-toyama.ac.jp/>

担当者

(職名) 教育技術センター長

(氏名) 山腰 等

(連絡先) E-mail：[hyama@nc-toyama.ac.jp](mailto:hyama@nc-toyama.ac.jp)

電話/Fax：076-493-5437

(注) 本調査を補完するような資料がある場合には、必要に応じ添付して下さるようお願いいたします。

1. 各機関における既存の活動

(1) ESDに関連する学内教育活動について、講義名、対象学生の種別等をご記入ください。

番号	講義名	担当教員名	概要
1	専攻科特別演習	本江、定村	「地域に役立つものづくり」として、地域の福祉施設、青少年育成、科学博物館等に出向き問題解決にチームで取り組む。年に4回の発表会は地域に人々や企業の技術者の協力を得て実施。前期は企画と設計。2単位、必修、エコデザイン工学専攻、1年23名
2	専攻科特別実験	本江、定村	同上、後期はものづくり（製作、改良）。
3	技術者倫理入門	教育技術センター（丁子、畔田、定村）	「30年後のエネルギーについて考える」をテーマに、開発教育や環境教育の要素をとり入れ地域企業の協力も得ながら、調査、発表、議論等を共同学習で行う。機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、電子情報工学科、1年155名、1単位、必修
4	ものづくり基礎工学実験（機械システム工学科のテーマ）	本江、石黒	教材として開発したロボットカーを使い、与えられたタスクを達成するために消費エネルギーを最小にする効率的な走行をチームで考えさせる、機械システム工学科、電気制御システム工学科、物質化学工学科、電子情報工学科、1年155名、3単位

			(1/15回のみ)、必修
5	電子情報工学実験Ⅲ	梅	教材として開発したロボットカーを使い、与えられた走行路を効率的に走るプログラムを作り、戦略やねらいを考慮したプログラム開発を共同学習で相互に学び合う、電子情報工学科4年40名、3単位、必修
6	中国・内モンゴルESD研修	教育技術センター	テーマは「沙漠化最前線の地で、科学技術の明日を考える」、事前研修、現地視察と交流、事後研修を含めて技術者としてのESD研修としている、4年生以上希望者が対象、2単位
7	ESDセミナー	教育技術センター	全校学生が対象、平成24年度のテーマは、ボルネオ保全トラストジャパンより講師を招き、ワークショップ型で「パーム油のはなし ～環境にやさしいってなんだろう～」を実施、単位はなし

(注) 概要欄には、講義のESDとのかかわり、認定単位数、修了要件への該当、受講者の種別、受講者数等を記載する。

(2) ESDに関連する研究活動について、ご記入ください。

1. 「電子教材の長期利用を意図した学習システムの開発と複合的学力育成に関する研究」  
成瀬喜則（富山高等専門学校 教授）  
（基盤研究（C）2012年4月1日～2015年3月31日(予定) ；研究課題番号：24501170)
2. 「認知主義・状況主義学習理論からアプローチするKOSEN型実技教育の再評価と標準化」  
伊藤通子（富山高等専門学校 技術専門員）  
（基盤研究（C）2011年4月1日～2013年3月31日（予定） ；研究課題番号：23501083)

(3) ESDに関連する地域貢献活動について、ご記入ください。

① 初等中等教育へのESD教育支援活動が行われている場合、内容をできるだけ具体的に記述してください。

・ 出前授業等の教員・学生による専門的知見の提供があれば記述してください。

対象（高校、中学校、小学校、幼稚園・保育園、その他）

エネルギーを考える出前授業

ゴミや3Rなどに関する出前授業

放射線に関する出前授業                      など多数あり

・ 小中学校等の学校と共同で学生が実施する活動があれば記述してください。

（例えば街路のゴミ拾い等）

なし

・ ESD推進に資する教材開発があれば記述してください。

開発された教材：

1. 様々な状況下での最適化を考えさせる工学技術者教育のための実験教材  
「ロボットカー」

2. 「30年後のエネルギーについて考える」共同学習のための、Problem-Based Learningの学習法を使った一連のワークショップ及びワークショップに使うワークシート類、双方向学習のためのクリッカー教材など

・ ESDを選択できるような社会人向け（大学院）コースはありますか？

ある場合、内容をできるだけ具体的に記述してください。

なし

・ ESDを対象とする教員免許状更新講習科目があれば記述してください。

なし

② ESD分野でのその他の地域貢献活動はされていますか？

例：公民館や博物館等との連携活動

・ 平成25年8月に第31回開発教育全国研究集会をNPO法人開発教育協会と同実

行委員会の主催で、富山高専を会場にして実施

## 2. 上記以外で今後、各機関が提供できるESD分野のサービス

- ・ 専門的知見の提供・ 教員への助言（例えば防災教育、国際理解教育等）
- ・ 出前授業
- ・ 教材の提供
- ・ (〇〇分野の) カリキュラムの共同開発 等

上記のようなサービスを提供されている場合、具体的に記述してください。

1. Problem-Based Learningの学習法を使ったワークショップ型授業や研修会の企画及び実施、ファシリテート

## 3. 各機関におけるESDの持続性を支援するための体制

- ・ 例えば教員研修（FD）、職員研修（SD）を活用した学内におけるESDの周知方策

1. 地域人材開発本部 教育技術センターにおけるESD関連の授業づくりやシンポジウム等の事業

## 4. ESD分野での他大学との連携

なし

## 5. その他の関連活動

特になし